

平成 17 年度

(社) 日本技術士会東北支部 応用理学部会

総 会 資 料

日時：平成 17 年 6 月 10 日（金） 15 時 30 分～17 時 30 分

場所：仙台市福祉プラザ 10 階第 2 研修室

〒980-0022 宮城県仙台市青葉区五橋 2 丁目 1 2 - 2

(地下鉄五橋駅より徒歩 3 分, 市営バス市立病院前徒歩 3 分)

T E L 022-213-6237

F A X 022-213-6467

1. 総会議事 15 時 30 分～16 時 30 分

(1) 開会宣言

(議長選出)

(2) 議事

①平成 16 年度活動報告

②平成 16 年度会計報告

③監査報告

④平成 17 年度部会幹事人事 (案)

(新旧部会長挨拶、議長交代)

⑤平成 17 年度活動計画 (案)

⑥平成 17 年度会計予算 (案)

⑦規約一部改正

(3) 閉会宣言

2. 特別講演 16 時 30 分～17 時 30 分

「超臨界流体技術の実用化促進の展望」

(独)産業技術総合研究所東北センター 小野 實信 氏

(工学博士, 技術士 (機械, 総合技術監理))

3. 意見交換会 17 時 45 分～19 時 45 分

場所： 仙台市福祉プラザ 2F レストラン あすなろ

会費： 4,000 円

1. 平成 16 年度活動報告

1.1 部会会員数

東北支部応用理学部門 75 名 (内 正会員 42 名)

1.2 活動報告

(1) 平成 16 年度総会

日時：平成 16 年 4 月 23 日 (金)

場所：仙台市戦災復興記念館 4 階第 2 会議室

特別講演 16 時 30 分～17 時 30 分

「更新統岩沼層の化石と古環境」 理学博士 竹内貞子 氏 柳町自然研究所
(元齊藤報恩記念自然史博物館 学芸部長)

参加者：19 名

懇親会：仙台市戦災復興記念館 2 階 レストラン 12 名参加

(2) 見学会

日時：平成 16 年 7 月 16 日 (金)

場所：奥松島縄文村歴史資料館

講演：「貝塚から見た縄文人の暮らしー発掘によって明らかにされる日本人の歴史ー」
菅原弘樹氏 (奥松島縄文村歴史資料館主幹兼学芸員兼学芸係長)

参加者：27 名

(3) 平成 16 年度第 1 回研修会

日時：平成 16 年 11 月 26 日 (金) 14 時～17 時 30 分

場所：仙台市戦災復興記念館 5 階会議室

内容：特別講演「地震防災と技術士への期待」 仙台市消防局 京 英次郎氏
報告会「過去の地震に学び、地震前対策を考える」 応用理学部会地震防災
WG

参加者：40 名 (一般 12 名)

(4) 平成 16 年度第 2 回研修会

主催：応用理学部会、山形県技術士会

共催：東北土壌汚染研究会、(協) 地盤環境技術研究センター

日時：平成 17 年 2 月 18 日 (金) 13 時 30 分～17 時 30 分

場所：山形グランドホテル大宴会場 (山形市七日町)

内容：土壌・地下水汚染の技術的課題と現状 (その 2)
ー山形県地盤環境問題と技術士の役割ー

基調講演：「山形県における土壌・地下水汚染の現状と対策について」
山形県環境科学研究センター 大岩敏男 氏

一般講演：講師 4 名

参加者：64 名

懇親会：25名

(5) 幹事会

6回開催（平成17年度第1回：4/9，第2回：4/23，第3回：6/11，第4回：9/17，第5回：12/17，第6回：2/18）

(6) 地震防災WG

5回開催（第6回：6/11，第7回：7/16，第8回：8/20，第9回：9/17，第10回：10/15）

仙台市の地盤図を完成させ、過去の地震被害と地盤の関係、地震防災の広報パンフレットの作成、地域防災計画と地盤の関係などの解説を通した、わかりやすい地震と地盤の関係の解説を試みた（第2回研修会）。また、この研修会に先立ち、WGメンバーによる緑ヶ丘地区の現地視察を行った。

11月12日には、日本応用地質学会東北支部主催の「迫りくる宮城県沖地震に備える（その2）」にポスター展示で参加した。

2. 平成16年度会計報告

応用理学部会 平成16年度 会計決算(案)

	予算額	決算額
総収入	400,280	515,780
総支出	347,480	481,676
次期繰越収支差額	52,800	34,104

【収入の部】

単位:円

科目	予算額	決算額	増減	摘要	
前期繰越収支差額	100,280	100,280	0		
繰入金収入	50,000	50,000	0		
小計	150,280	150,280	0		
事業収入	総会	100,000	40,000	△ 60000	意見交換会 12名参加×4,000円
	見学会	50,000	44,500	△ 5500	27名参加
	研修会1	50,000	83,000	33000	40名(参加費27名),意見交換会14名
	研修会2	50,000	198,000	148000	64名参加,意見交換会21名分含む
雑収入	0	0	0		
小計	250,000	365,500	115500		
総収入	400,280	515,780	115500		

【支出の部】

科目	予算額	決算額	増減	摘要	
事業費	総会	130,000	82,750	△ 47250	講演謝礼,意見交換会ほか
	見学会	35,000	30,000	△ 5000	講師謝礼,日帰り
	研修会1	10,000	76,130	66130	会場費,資料印刷費,意見交換会ほか
	研修会2	60,000	203,586	143586	会場費,意見交換会ほか
	小計	235,000	392,466	157466	
管理費	会議費	50,000	28,304	△ 21696	幹事会6回,WG1回
	通信費	5,000	7,830	2830	送料ほか
	事務雑費	5,000	0	△ 5000	
	予備費	52,480	53,076	596	地震防災WG関連印刷費ほか
小計	112,480	89,210	△ 23270		
総支出	347,480	481,676	134196		
当期収支差額	52,800	34,104	△ 18696		
合計	400,280	515,780	115500		

3. 監査報告

決 算 報 告

平成 16 年度決算は前記の通り相違ありません。

平成 17 年 4 月 日

(社) 日本技術士会東北支部 応用理学部会

部会長 羽竜忠男 印

会計担当 今野隆彦 印

監 査 報 告

前記決算は監査の結果、正確妥当であることを認めます。

平成 17 年 4 月 日

(社) 日本技術士会東北支部 応用理学部会

監事 印

4. 平成 17 年度 役員人事（案）

役職	氏名		所属	担当
部会長	滝田良基	新任	(株)ニュージェック	
副部会長	守屋資郎		(株)復建技術コンサルタント	
副部会長	本田忠明		(株)いずみ測量設計	総務・会計
代表幹事	今野隆彦		(有)ジオプランニング	総務・会計
幹事	押見和義		(株)復建技術コンサルタント	青森
幹事	熊谷 周		日本工営(株)	広報
幹事	谷藤允彦		新協地水(株)	福島
幹事	中里俊行		(有)ジオテクノ中里産業	行事
幹事	中村光作		新和設計(株)	広報
幹事	新沼正彦		(株)菊池技研コンサルタント	岩手
幹事	大友秀夫		東北ボーリング(株)	行事
幹事	三苫 寛		ジオテックコンサルタンツ(株)	秋田
幹事	三浦 隆	新任	(株)パスコ	行事
監事	佐藤一夫	新任	(株)仙台技術サービス	
顧問	羽竜忠男	新任	北光ジオリサーチ(株)	

退任：羽竜忠男（部会長）

役割分担 担当幹事

- ① 行事・・・年間活動（総会，見学会，研修会の総括）
中里幹事，大友幹事，三浦幹事
- ② 広報・・・各行事の広報担当（事務局への広報，支部への報告）
中村幹事，熊谷幹事
- ③ 総務・会計・・・幹事会の手配，その他。会計。
本田副部会長，今野幹事

5. 平成 17 年度 活動計画 (案)

①総会：平成 17 年 6 月 10 日(金) 15 時 30 分～17 時 30 分

総会 15 時 30 分～16 時 30 分

特別講演 16 時 30 分～17 時 30 分

懇親会 17 時 45 分～19 時 45 分

特別講演：「超臨界流体技術の実用化促進の展望」 産総研 小野 實信 氏

懇親会：仙台市福祉プラザ内 レストラン あすなる

②見学会 7 月 20 日(水)～21 日(木) 共催 (衛生工学・環境・上下水道部会

電気電子部会, 福島県技術士会)

福島県 十六橋水門 (猪苗代町), 柳津西山地熱発電所, (財)福

島県下水道公社中浄化センター, 摺上川発電所 (東北電

力), すりかみ浄水場 (福島地方水道用水供給企業団)

7 月 29 日(金) 日帰り 主催

独立行政法人 産業技術総合研究所 東北センター

(〒983-8551 仙台市宮城野区苦竹 4-2-1

TEL:022-237-5211 FAX:022-231-1263)

③H17 第 1 回(環境)研修会 12 月 9 日 (金)

環境関連

場所未定

④H17 第 2 回(防災)研修会 2 月 10 日または 17 日 (金)

地震防災 WG 活動報告

場所未定

⑤地震防災 WG

市民センターと提携して, 出前講座の実施。

(交渉中)

6. 平成17年度 会計予算 (案)

応用理学部会 平成17年度 会計予算(案)

	予算	H16決算	対比
総収入	494,104	459,780	34,324
総支出	454,104	425,676	28,428
次期繰越収支差額	40,000	34,104	5,896

【収入の部】

単位:円

科目	予算額	H16決算	対比	摘要	
前期繰越収支差額	34,104	100,280	△ 66,176	前期繰越	
繰入金収入	50,000	50,000	0		
小計	84,104	150,280	△ 66,176		
事業収入	総会	40,000	40,000	0	交流会費
	見学会	50,000	44,500	5,500	資料代, 謝礼
	(環境)研修会	160,000	198,000	△ 38,000	50名(資料代 2,000円)
	(防災)研修会	160,000	27,000	133,000	50名(資料代 2,000円)
雑収入	0	0	0		
小計	410,000	309,500	100,500		
総収入	494,104	459,780	34,324		

【支出の部】

科目	予算額	H16決算	対比	摘要	
事業費	総会	60,000	82,750	△ 22,750	講演謝礼, 交流会費ほか
	見学会	70,000	30,000	40,000	資料印刷費, 謝礼
	(環境)研修会	140,000	203,586	△ 63,586	会場費, 印刷費, 交流会ほか
	(防災)研修会	140,000	20,130	119,870	会場費, 印刷費, 交流会ほか
	小計	410,000	336,466	73,534	
管理費	会議費	30,000	28,304	1,696	幹事会6回
	通信費	5,000	7,830	△ 2,830	送料ほか
	事務雑費	5,000	0	5,000	
	予備費	4,104	53,076	△ 48,972	
	小計	44,104	89,210	△ 45,106	
総支出	454,104	425,676	28,428		

7. 規約の改正案

(社) 日本技術士会東北支部 応用理学部会の規約を以下のように改正する。

改正前

第4条 役員

本部会は、上記目的を達成するため、次の各号に掲げる役員を置き円滑な部会の運営にあたる。

部会長	1名
副部会長	2名
幹事	若干名
会計	1名（幹事の中から互選で決める）

以下省略

第5条 役員を選任

- (1) 部会長は、部会総会において選任する。
- (2) 幹事は、部会長が部会員の中から委嘱し、支部長に報告する。
- (3) 顧問は、役員会が推薦し、支部長の承認を得て委嘱する。

改正後

第4条 役員

本部会は、上記目的を達成するため、次の各号に掲げる役員を置き円滑な部会の運営にあたる。

部会長	1名
副部会長	2名
幹事	若干名
<u>監事</u>	<u>1名</u>

第5条 役員を選任

- (1) 部会長は、部会総会において選任し、支部長に報告する。
- (2) 幹事は、部会長が部会員の中から委嘱し、総会に報告する。
- (3) 顧問は、役員会が推薦し、総会に報告する。
- (4) 監事は部会長が推薦し、総会で承認を得る。

以上